

竹の造形

ロイド・コッツェンコレクション展

併催 特別展示「大分県立芸術会館所蔵 竹工芸の魅力」

平成16(2004)年

2/17_(火) ~ 3/28_(日)

アメリカ人が「発見」した
日本の美

■ 開館時間

午前9時～午後5時
土曜日～午後7時
(入場は閉館30分前まで)

■ 休館日 月曜日

■ 入場料

一 般 1,000円 (団体・前売 800円)
高・大学生 600円 (団体・前売 400円)
小・中学生 400円 (団体・前売 200円)

(団体は20名以上)

※前売券は、広島市・呉市の主なプレイガイド、
画廊、画材店などでも販売しています。

■ 主催 広島県立美術館・日本経済新聞社

■ 後援 文化庁・アメリカ大使館

■ 協賛 日本興亜損保・松下電器

■ 協力 日本航空

 広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22
TEL 082-221-6246 FAX 082-223-1444

Bamboo Masterworks in Modern Japan from the Lloyd Cotsen Collection

100%
古紙100%再生紙

アメリカ人が「発見」した日本の美

日本の竹工芸は、中国製竹籃を写すこと（唐物写し）から始まり、やがて独自の感性で発展を見、近代には竹工芸という分野が確立して現在に至りました。竹はアジア一帯に自生する身近な素材で、日本でもその特徴を生かしながら、多様な技法を駆使した作品が各地域で作られてきました。生活の各所に欠かせない竹は、最近ではエコロジー素材としても注目を集めています。

近年、竹工芸への関心が世界的に高まりを見せています。アメリカ人のロイド・コッツェン氏は40年以上かけて1100点を超える竹工芸作品を収集し、その規模・内容ともに世界最大とされています。本展では、このコレクションから106点を厳選して、江戸時代末期から現代の日本の竹工芸を紹介します。

また、国内有数の竹工芸コレクションを有する大分県立芸術会館から「竹工芸の魅力」として44点を特別展示します。東西両洋の視点から伝統ある竹工芸を再発見するまたとない機会です。是非ご来場ください。

■講演会

演題 「花籃と竹の造形の魅力について
—コッツェン・コレクションをとおして見る—」

講師：諸山 正則（東京国立近代美術館主任研究官）

日時：平成16年 2月28日(土) 13:30～

場所：地階講堂

料金：無料※

申込方法：往復はがき(1人につき1枚)の往復面に講演日、住所、名前を、返信面に返送先をご記入のうえ、1週間前まで(消印有効)にお申し込みください。

■美術講座

日時：2月21日(土) 13:30～16:00

場所：地階講堂

料金：無料

第1部 竹の民俗誌 13:00～

講師：白石 昭臣（山陰民俗学会理事）

第2部 大分の竹工芸(仮題) 14:30～

講師：友永 尚子（大分県立芸術会館主幹学芸員）

■ギャラリートーク

日時：2月20日、3月5日、19日(金)
11:00～（入場券が必要です）

場所：3階展示室

■バンブー・ワークショップ

（竹工芸の制作体験）

日時：2月27日(金)、28日(土)、29日(日)
3月5日(金)、6日(土)、7日(日)
の10:00～12:00または14:00～16:00
(所要時間約2時間)

場所：1階ロビー

料金：500円

申込方法：2月3日～17日(消印有効)の間に、往復葉書(1人1枚使用)で①希望日②午前・午後の希望③名前④住所⑤電話番号を書いて「〒730-0014広島市中区上横町2-22 広島県立美術館 バンブーワークショップ係」へ申し込んでください。希望者が多いときは抽選とします。



◎JR広島駅より約1km ◎広島城より約400m
◎市内電車・バス「縮景園前」下車約20m

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM

http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/

併催 特別展示「大分県立芸術会館所蔵 竹工芸の魅力」

竹の造形



初代田邊竹雲斎 《柳里恭花籃》



東竹園斎 《紫竹組花籃》



門田篁玉 《涛の華》



《盛物籠》 作者不詳



小菅小竹堂 《鳳尾竹花器 遊里》



阪口宗雲斎 《寿々竹花籃》



五世早川尚古斎 《輪扇花籃》



勝城蒼鳳 《千筋捻之花籃 晩雲》



《花籃》 作者不詳



初代田邊竹雲斎 《花籃 福寿満堂》



門田二篁 《花生》



山本篁園 《玉簾形花籃》